

関東東山病虫害研究会 第56回 研究発表会・総会プログラム

日時:2009年2月27日(金) 10:00~16:40  
場所:東京都立川市 立川市民会館

大ホール(虫害・総会会場) 一般講演12分(1鈴8分, 2鈴10分, 3鈴12分)

時間	番号	講演題目	座長
10:00	1	ホウレンソウを加害するハコベハナバエの神奈川県における被害状況 ○鈴木 誠・曾我部光現・松田広子・北 宜裕(神奈川県農技セ)	竹内浩二 (東京農総研)
10:12	2	茶園におけるチャドクガの捕食性天敵ヒラタアトキリゴミムシの確認 ○小俣良介(埼玉農総セ茶業特産研)	
10:24	3	コマツナ周年無農薬栽培における害虫の発生と対策、特にアブラムシ対策 ○長坂幸吉1・安部順一朗2・尾島一史2・田中和夫3(1中央農研・2近中四農研・3九州沖縄農研)	
10:36	4	サツマイモにおけるタバココナジラミの発生と被害 ○横須賀知之1・西宮智美1・青木一美1・黒羽美穂子2・遠山宏和3・仲田道生4(1茨城農総セ農研・2茨城農総セ鉦田農改セ, 3茨城農総セ生物工学研, 4茨城農総セ)	國友義博 (山梨総農技セ)
10:48	5	展着剤の加用がオオタバコガに対する殺虫剤の防除効果に及ぼす影響 ○鹿島哲郎1・西宮智美2・草野尚雄1・富田恭範1・長塚久3(1茨城農総セ園研・2茨城農総セ農研・3茨城農総セ鹿島特産指)	
11:00	6	アカスジカスミカメの交尾経験判定法 ○菅野 亘・渡邊朋也(中央農研)	矢ヶ崎健治 (埼玉農総研水田農研)
11:12	7	栃木県県南における水稻ヨコバイ類発生実態調査 ○関和孝博・渡辺喜夫・星 一好(栃木農環指セ)	大井田 寛 (千葉農総研)
11:24	8	ナス栽培におけるヒメハナカメムシ類とコンパニオンプランツとの関係 ○大矢武志1・二村友彬1・鈴木 誠1・日本典秀2(1神奈川県農技セ・2農生資源研)	
11:36	9	ナミヒメハナカメムシ及びカブリダニ類によるパプリカのヒラズハナアザミウマの密度抑制 ○1伊原竜夫・1南島誠・2西嶋秀雄・2上久保和芳・3林秀敏・4大石雄大・5林浩久・5村上将太(1長野南信農試・2下伊那農改セ・3JAみなみ信州・4アリスタ・5アグログリーン)	
11:48	10	オオメカメムシによるイチゴ主要害虫混発条件での防除 ○小山田浩一(栃木農試)	
12:00	昼食休憩		
12:45	総会		
13:15	特別講演 イチゴ炭疽病は、こうすれば防げる 石川成寿 氏(栃木県農業試験場 環境技術部)		堀江博道 (東大大学院農学生命科学研究科)
13:55	特別講演 害虫研究における工夫や発見とその展開 清水喜一 氏(千葉県農林総合研究センター 病虫害防除課)		
14:45	11	自動カウントトラップ・ムシダスの再改造とホソヘリカメムシの誘引消長 岩井秀樹1・○守屋成一・水谷信夫1・山口卓宏2(1中央農研・2鹿児島農総セ)	功刀幸博 (山梨果樹試)
14:57	12	スギ雄花生産量に基づくチャバネアオカメムシ越冬後成虫の発生予測 ○大谷 徹(千葉農総セ暖地園研)	
15:09	13	誘引トラップ設置場所によるカメムシタマゴトビコバチ誘殺数の差異 ○水谷信夫1・行徳裕2・樋口聡志2・山口卓宏3・田淵研1・安田哲也1・佐々木力也3(1中央農研・2熊本農研セ・3鹿児島農開総セ)・3富士フレイバー)	
15:21	14	栃木県におけるいちごのナミハダニの薬剤感受性 ○小林 誠・山城 都(栃木農環指セ)	上遠野富士夫 (千葉農総研暖地園研)
15:33	15	ナミハダニの立体網に対する各種天敵の行動反応 ○下田武志(中央農研)	
15:45	16	農薬によるコナガサムライコマユバチ寄主探索行動への影響(2) ○河津圭・下田武志・鈴木芳人(中央農研)	
15:57	17	乳化病菌を用いた効果持続剤の開発 ○横山とも子1・伊東靖之1・松本健一2・大崎憲生2(1千葉農総セ・2アグロカネショウ)	守屋成一 (中央農研)
16:09	18	キャベツ圃場におけるヨトウガ核多角体病ウイルス散布の効果と顆粒病ウイルス由来タンパク質による感染増進 ○務川重之・後藤千枝(中央農研)	
16:21	19	無農薬・無化学肥料水田と慣行水田における節足動物相の比較 ○森本信生 西城 洋 鈴木芳人(中央農研)	

# 関東東山病害虫研究会 第56回 研究発表会・総会プログラム

日時:2009年2月27日(金) 10:00~16:40  
場所:東京都立川市 立川市民会館

小ホール(病害・線虫害会場) 一般講演12分(1鈴8分, 2鈴10分, 3鈴12分)

時間	番号	講演題目	座長
10:00	1	<i>Rhizoctonia solani</i> によるキョウラン紋枯病(新称), ニチニチソウ苗立枯病(菌群決定) ○小野 剛・星 秀男(東京都農林総合研究センター)	竹内 純 (東京島しょ農 林水産セン ター大島)
10:12	2	数種花き類に発生した白絹病 ○1植松清次・1田中千華・1鈴木健・2佐藤衛・2築尾嘉章(千葉県農林総合研究センター・2花き研究所)	
10:24	3	ガーベラの花に発生した2種病害 ○鈴木幹彦1・外側正之2・市川健1・内山徹1・伊藤陽子3(1静岡県農林技術研究所・2静岡県農林技術研究所茶業 研究センター・3花き研究所)	
10:36	4	茨城県に発生するジャガイモそうか病菌の菌種 ○青木 一美1・渡邊 健1・小池和好2(1茨城県農業総合センター農業研究所・2出光興産株式会社先端技術研究 所)	
10:48	5	長期どり栽培におけるトマト黄化葉巻病の発消長と冬季の潜伏感染 ○嶋田竜太郎・沼沢健一・小谷野伸二・渡辺耕造(東京都病害虫防除所)	藤永真史 (長野県野菜 花き試験場)
11:00	6	静岡県で発生しているトマト黄化葉巻病の病原ウイルス(TYLCV)の系統 ○土井誠1・杉山恵太郎1・加藤光弘1・田上陽介2・多々良明夫3(1静岡県病害虫防除所・2静岡大学・3静岡県産業 部)	
11:12	7	群馬県におけるキュウリ退緑黄化病(仮称)の発生状況 ○桑原克也1・蓼沼優1・長尾由美1・酒井宏2(1群馬県農業技術センター・2群馬県農政技術支援課)	
11:24	8	千葉県におけるトマト退緑萎縮病の発生 ○小塚玲子1・竹内妙子1・津田新哉2(1千葉県農林総合研究センター・2中央農業総合研究センター)	
11:36	9	群馬県におけるアジサイ斑点細菌病の発生と <i>Acidovorax valerianellae</i> の病原性 ○池田健太郎1・桑原克也1・古屋修1・瀧川雄一2(1群馬県農業技術センター・2静岡大学)	舟久保太一 (山梨県総合 農業技術セン ター)
11:48	10	メロン果実汚斑細菌病に対する育苗期の薬剤防除体系 ○宮本拓也・小河原孝司・富田恭範(茨城県農業総合センター園芸研究所)	
12:00	昼食休憩		
12:45	総会		
13:15	特別講演 イチゴ炭疽病は、こうすれば防げる 石川成寿 氏(栃木県農業試験場 環境技術部)		堀江博道 (東大大学院 農学生命科 学研究科)
13:55	特別講演 害虫研究における工夫や発見とその展開 清水喜一 氏(千葉県農林総合研究センター 病害虫防除課)		
14:45	11	イチゴ炭疽病耐病性品種(宝交早生、Dover)を枯死させる菌株の出現 ○森島正二・石川成寿・和氣貴光・福田充(栃木県農業試験場)	酒井 宏 (群馬県農政 部技術支援 課)
14:57	12	茨城県におけるイチゴ炭疽病の発生実態と防除の取り組み ○橋本由美・小河原孝司1・菊地麻里1・富田恭範1・小西博郷(茨城県農業総合センター鉾田地域農業改良普及セ ンター・1茨城県農業総合センター園芸研究所)	
15:09	13	温湯散布によるイチゴ病害防除の可能性 ○小西博郷・小河原孝司・島本桂介・富田恭範・佐藤達雄1(茨城県農業総合センター園芸研究所・1茨城大学農学 部)	
15:21	14	有機物施用湛水がダイズ黒根腐病の発生に及ぼす影響 ○越智 直・仲川 晃生(中央農業総合研究センター)	渡邊 健 (茨城県農業 総合センター 農業研究所)
15:33	15	50℃温水の灌注処理によるナンシ白紋羽病の防除 ○江口直樹1・徳竹浩文2・杵淵真也2・山岸菜穂1(1長野県南信農業試験場・2エムケー精工(株))	
15:45	16	下伊那地域のキュウリから分離したキュウリ褐斑病の薬剤感受性 ○山岸菜穂・江口直樹(長野県南信農業試験場)	
15:57	17	有機栽培ニンジンにおけるネグサレセンチュウ被害の様相 ○水久保隆之・岩井秀樹・長坂幸吉(中央農業総合研究センター)	横須賀知之 (茨城県農業 総合センター 農業研究所)
16:09	18	ダズメット粉粒剤はエダマメのダイズシストセンチュウに効く～幾つかの事例から～ ○大林隆司1・櫻井文隆2・吉村聡志2・高木章雄3・伊藤綾4・竹内浩二1(1東京都農林総合研究センター・2東京都 中央農業改良普及センター・3東京都農林水産部・4東京島しょ農林水産総合センター三宅事業所)	